



## 新潟市西蒲区 特色ある区づくり事業 (にしかん環境にやさしい農業実践)

近年、農業は安心・安全な農産物の生産だけでなく、環境保全・資源循環などの取り組み、周辺地域の生活環境への配慮が求められるようになってきています。そこで、農業が主要産業である西蒲区において、生産者有志が「にしかんエコアグリグループ」を立ち上げ、下記の共同宣言を発表しました。

参画団体・生産者と関係機関が一丸となり、産地の意識醸成を図り、具体的な取り組みを進め、その取り組みを広く発信していきます。

### にしかん農業 環境配慮共同宣言

私たちは、西蒲区の豊かな自然と恵まれた生活環境を守りながら、  
持続可能な農業の実践を目指します

令和2年6月1日 にしかんエコアグリグループ

※趣旨に賛同してもらえる生産者団体を募集しています。詳しくは裏面のお問合せ先 新潟市西蒲区産業観光課までお願いします。

### ～参画団体・生産者のみなさんの声～

#### 果樹部門

##### 越王おけさ柿振興協議会

会長 大谷 学 さん



「令和2年で越王おけさ柿の栽培開始から50周年を迎えました。今後も地域に愛される産地を作っていくため、農薬の飛散防止を徹底し、近隣住民に配慮した農作業を継続、産地の剪定枝などの有機質資源の有効活用を検討していきます」



熱心に検討を重ねる様子

#### 畜産部門

##### (有)阿部畜産

代表取締役 阿部 俊夫 さん



「酪農家11戸・養豚家4戸・養鶏家1戸で活動しています。区内の畜産業で共通意識をもって臭気対策に取り組んでいます。地域の方々の理解を得るため、消臭剤の積極的な利用などの確な対策に取り組み、改善に努めていきます」 ※農家戸数は令和3年1月1日時点



定期的に検討会を開催

#### 水田農業部門・園芸部門

##### MOA自然農法新潟市普及会

代表 今井 啓徳 さん



「学校で児童への啓発など積極的に活動しています。今後は消費者の理解を深めるため、自然農法発表会を開催するなどPRしていきます」  
自然農法…農薬や化学肥料に頼らず、自然の力を活かした栽培方法  
※水田農業部門にはほかにも中之口特別栽培米部会が参加



小学校での課外授業

#### 園芸部門

##### にしかん園芸作物生産協議会

会長 青柳 厚 さん



「新潟市西蒲区で生産された、色や大きさ、形などに特徴のある珍しい野菜を『にしかん なないろ野菜』としてブランド化し販売しています。年間50品種ほどの野菜を生産しています。敷きつめ堆肥を利用し、除草剤の使用を減らすなど、減農薬に取り組めます」



栽培方法向上のための現地研修会

# 私たちはこんな取り組みを行っています!!



## 資源循環

### 果樹部門 越王おけさ柿振興協議会



柿の剪定枝を無煙炭化器で燃やすことで、越冬する病害虫の被害防止に。できた炭を利用することで、土壌も豊かになり一石二鳥です。



柿の剪定枝を無煙炭化器で燃やします。燃焼に勢いが出てくるとほとんど煙が出ません。



炎が小さくなったら炭化完了。火消し蓋か水または土で消火します。



炭を柿の木の根元に播いて減農薬・減肥料。剪定時期は炭化器の使用予約は満杯です。

西蒲区産業観光課では、果樹剪定枝の処分対策として、無煙炭化器の貸し出しをしています。



## 環境改善

### 畜産部門 酪農家11戸 養豚家4戸 養鶏家1戸 ※令和3年1月1日時点



策定した努力目標に基づく畜舎内の徹底した衛生管理に加え、定期的な臭気調査を実施。研修会を開催して改善につなげています。



農村地域との市街地域の近接化などにより、施設からの臭気が問題となります。そこで、定期的な施設の臭気・空気成分調査や浄化槽などの調査を実施し、その結果を踏まえ研修会を開催し、改善につなげています。



臭気の発生抑制や様々な消臭剤の使用などの対策を実施しています。地域と共存するための配慮や工夫が重要です。



## 環境保全

### 水田農業部門・園芸部門 MOA自然農法新潟市普及会



化学肥料・農薬を一切使用しない自然農法を実践。栽培・収穫体験を行ったり、野菜市を開催してPRしています。



自然栽培のたんぼで小学生が田植え体験。なたねの油粕を土に混ぜています。



自然栽培の野菜を販売して消費者に理解を深めてもらっています。



敷きつめ堆肥を撒いて、草を生えづらくし、土壌の乾燥を防ぐ取り組みもしています。

お問合せ

新潟市 西蒲区役所 産業観光課

新潟市西蒲区巻甲 2690 番地 1  
☎ 0256-72-8407 (直通)